

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
----	--------

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農業政策課
	氏名	課長 杉本 守

政策	1 新たな価値や需要を掘り起こし、市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランドを推進します
----	---

施策	1 需要創出による「お茶のまち静岡市」の推進
----	------------------------

施策の目的	<p>静岡市は、中山間地域を中心に、お茶が約800年の栽培の歴史がある良質な産地として、全国から荒茶が集積し、仕上げ加工された茶が全国の消費地へ出荷される集散地として、地域社会を支える基幹産業として発展してきました。しかし、消費者の飲用スタイルの変化などに伴う荒茶の市場価格の低迷が続き、茶の栽培農家や耕作面積が減少し、収益性の高い茶業経営の実現が急務となっています。</p> <p>このため、本市のお茶が持つクオリティーに加え、茶どころとしての歴史や優れた景観など、地域資源を活かした付加価値をつけた取組や、積極的な情報発信を実施することにより、「静岡市のお茶」「お茶のまち静岡市」のブランド力を高めていきます。さらに、市内外からの来訪者の増大などを通じ、「静岡市のお茶」の新たな需要の創出に繋げ、持続性の高い「お茶のまち静岡市」の実現を目指します。</p>
-------	--

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由	成果指標の実績が目標を大きく上回るとともに、昨年も成果指標に掲げた本市における一世帯当たりの緑茶（リーフ）の「年間購入数量」及び「年間支出金額」が、ともに日本一であったことから、施策の目的が十分に達成されていると評価することができる。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠	
			1	2	3	4			
成果指標	一世帯当たりの年間茶葉購入数量における静岡市と全国との比較	173% (H27～29平均値)	1	200%	245%	122.5%	s	「茶どころ日本一計画」がスタートしたH22から直近H29までの平均値（197%）を維持することを目標とし、設定した。	
			2	200%	—	—	—		
			3	200%	—	—	—		
			4	200%	—	—	—		
				1					
				2					
				3					
				4					
指標以外の成果			1						
			2						
			3						
			4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
特産茶戦略的輸出支援事業	①海外販路の拡大を目指した官民一体の海外プロモーション（イタリア・ミラノ、ドイツ・ベルリン） ②在外公館主催天皇誕生日祝賀レセプションでの茶葉提供（イタリア・ローマ及びミラノ、ドイツ・ベルリン、アメリカ・シカゴ） ③シカゴ国際茶フェスティバル出展（アメリカ・シカゴ）	3	1	7,013	0	5,451	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
茶園地再編対策事業	安定的かつ持続的な茶業経営の基盤づくりのため、次の事業に対する助成を実施 ①茶園の小規模基盤整備 ②茶園の共同管理の推進 ③補完作物への転換	4	1	14,000	0	4,162	0.6	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
「静岡市お茶の学校」運営事業	「静岡市のお茶」、「お茶のまち静岡市」をテーマに、お茶に関する様々な分野を総合的に学ぶ講座を開催 ・18歳以上の市内在住者・通勤者が対象、令和元年度は年7回開催	5	1	528	0	309	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
お茶ツーリズム推進事業	①お茶ツーリズムの受付・相談窓口として、「しずおか茶巡りデスク」を開設したほか、ツーリズム実施者を対象とした勉強会を開催 ②静岡市お茶体験ガイドブックの増補・改訂版、簡易版リーフレットの発行	2	1	3,000	0	3,149	0.8	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
「お茶のまち静岡市」推進事業	「静岡市茶どころ日本一計画」に基づく情報発信の強化やプロモーション ①JR静岡駅情報発信事業 ②「お茶のまち静岡市」ホームページ情報発信事業 ③「お茶のまち静岡市」ラッピングタクシー導入事業 ④「お茶のまち静岡市」首都圏等プロモーション事業	1	1	20,536	0	12,277	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	昨今の茶業を巡る厳しい状況の中で、本市が活力ある日本一の茶どころとして持続的に維持・発展し、茶生産農家はもとより茶業関係者が将来に希望をもって持続可能な安定した経営を可能とするためには、収益力が高く、儲かる茶業の実現が欠かせない。	各茶業関係者の大同団結のもと、新たに令和2年度からスタートする「第2次静岡市茶どころ日本一計画」を着実かつ確実に実行していくことで、第2次計画に掲げた目標指標の達成を図る。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産	
政策	1 新たな価値や需要を掘り起こし市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランド創出を推進します	
施策	2 みかん、わさびなど強みのある産物の強化	
施策の目的	本市の特産であるみかん、わさびなど優位性のある産物の強化策として、県営畑総「茂畑地区」に果樹研究センターを誘致する事業に取り組むとともに、県及びJAと連携して本市の果樹の情報発信を図ります。さらに、わさび栽培に適した本市の立地条件を活かした、わさびの苗の生産施設の整備を支援するなど、本市産農産物のブランド力を強化していきます。	

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農業政策課
	氏名	課長 杉本 守

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標「静岡市産みかんの出荷量」については目標値5,200tに対して実績値は4,953tと僅かに減少したものの、成果指標「静岡市民が静岡市産のみかん、わさびを国内外に誇れる地域資源であると思う割合」については実績値が88.1%と、目標値の86.0%を2.1%上回り、全体としては関連事業の実施により一定の成果があったものと評価したため。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	2	3	4		
成果指標	静岡市産みかんの出荷量	5,281t (H27-30平均値)	1	5,200t	4,953t	95.3%	a	3次総前期4カ年（H27～30）における同実績値平均は5,281tであり、前4カ年平均値を当該年度出荷量と仮定した場合、目標年度（R4）の出荷量は5,278tと推定されるため、目標年度までの各年度の目標値については、近年の天候不順による不安定な生産性を考慮して5,200tと設定する。
			2	5,200t	—	—	—	
			3	5,200t	—	—	—	
			4	5,200t	—	—	—	
	静岡市民が静岡市産のみかん、わさびを国内外に誇れる地域資源であると思う割合	84.8% (H30)	1	86.0%	88.1%	102.4%	a	
			2	87.2%	—	—	—	
			3	88.4%	—	—	—	
			4	89.6%	—	—	—	
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
静岡県果樹研究センターの誘致	①安定対策工事に伴う地盤観測調査 (H27~R2) ②創設非農用地土地取得 (R1予算計上、R2へ繰越) ③安定対策に係る排土工事 (R3) ④排土工事後の地盤観測調査 (R4)	3	1	6,847	—	6,784	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
しずおか果樹百景プロジェクト	①果樹百景プロジェクト会議の開催 (R1は果樹農業振興方針の検討) (H27~) ②「静岡市果樹農業振興方針」の策定 (R1) ③各種消費拡大イベント等への参画 (H27~) ④「青島みかん」PR横断幕掲出 (静岡庁舎・清水庁舎) (H29~)	1	1	400	—	17	0.6	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産関連事業	※「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産事業・保全事業補助金 ①わさび世界遺産案内看板の設置 (R1) ②わさび世界遺産PR動画 (H30作成) を活用したプロモーション (R30~) ③優良品種バイオ苗の導入経費助成 (S44~) ④わさび育苗施設整備 (国庫事業活用) (H28)	2	1	2,229	—	2,111	0.8	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	みかん (果樹) ・わさびの振興については、限られた予算の中で如何に効果的な事業を実施していくか、各振興方針 (わさびはR2策定の予定) に基づく進行管理を進めていく必要がある。	わさびについては、令和2年度中の振興方針策定を目指す。また、みかん (果樹) ・わさび共に振興方針に基づく具体的な取組を実施するにあたり、財源確保を図るため、可能な限り国庫補助事業等の活用も検討していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
----	--------

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 水産漁港課
	氏名	課長 杉本 浩久

政策	1 新たな価値や需要を掘り起こし市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランド創出を推進します
----	--

施策	3 食文化としての「しずまえ」ブランドの普及
----	------------------------

施策の目的	「静岡市ブランド」の創出の推進のうち、新たな地域ブランドとして「しずまえ」を定着させます。駿河湾沿岸部で獲れる魚介類や食文化の普及のため、「しずまえ」の認知度向上と魅力のPRや農水産物を紹介するホームページ「ZRATTO!しずおか」により、消費者に向けて旬の情報を発信します。まずは市民の皆様における認知度を高め、「しずまえ」の地域ブランド化を図ることを目指します。
-------	---

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	しずまえブランドの認知度向上を目標に事業展開し、認知度は前年より3.9%上昇した。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	「しずまえ」の市民認知度の向上	50.7% (H30)	1	56.70%	54.60%	96.2%	a	令和4年度に認知度75%を達成することを目標としているため、各年度6.1%の増加とする。
			2	62.80%	—	—	—	
			3	68.90%	—	—	—	
			4	75.00%	—	—	—	
指標以外の成果		1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
しずまえ鮮魚の普及促進	①「しずまえ新聞」の市内小中学生への配布(6月及び11月) ②「しずまえ漁業見学ツアー」の開催(10月) ③「しずまえ・オクシズまつり」の開催(10月) ④しずまえPR事業(通年)	1	1	7,330	0	7,025	1.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
農水産物消費拡大促進事業	農水産物を紹介するホームページ「ZRATTO! しずおか」の運営(H26~)	2	1	1,550	0	1,160	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
藻場育成環境調査事業	減少傾向にある水産資源回復のための藻場造成、調査等	3	1	990	0	902	0.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	未だ「しずまえ」を知らない人への広報・普及を進める必要がある。	幅広い年齢層に対してPRするため、メディアやSNSを通じて、情報発信を行う。また、イベントという市民に見える形でのPR活動を継続強化していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
----	--------

政策	1 新たな価値や需要を掘り起こし市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランド創出を推進します
----	--

施策	4 市産材の活用促進による地域経済の活性化
----	-----------------------

施策の目的
 静岡市の森林面積は市域の約8割を占め、この内、スギ・ヒノキの人工林は約4割で林業の一大生産地帯を形成し、樹齢も利用が可能となる36年生以上の林分が9割に上り、森林資源として十分成熟しています。
 しかしながら、本市の林業を取り巻く環境は、急峻地形により路網整備、施業の機械化が進まず搬出コストが高くなる一方、木材の市場材価は低迷が長期化し採算性が向上しない、また、担い手も減少するなど経営状況は厳しい状況にあり、これに伴い森林の適切な管理ができず市民生活に欠かせない公益的機能の低下が懸念されています。
 このため、木材を本来あるべき森林の循環型資源として利用を促進し、森林が持つ公益的機能の維持増進を図るため本市木材の「地産地消」を目標に、川上における森林作業道開設、林業の機械化による林業の生産基盤の強化を進めると共に、川下での市産材を活用する住宅等の建築主へ構造材・内装材を提供する事業を通じて市産材の普及促進を図ります。

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 中山間地振興課
	氏名	課長 芝原 裕明

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標の評価は「A」であることから、地域経済の活性化の目的が概ね達成しているため、総合評価を「A」とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	市産材取引価格他産材との比較	10%高い状態	1	10%高い状態	10%高い状態	100.0%	a	市産材は約9割が住宅用に利用される一方で、一般の住宅に利用される木材は約7割が外国産材である。当事業では市産材の需要拡大だけでなく、低迷する木材価格の上昇による森林資源の健全な循環を図るため、近隣他産材価格の10%高い状態を目標とした。
			2	10%高い状態	—	—	—	
			3	10%高い状態	—	—	—	
			4	10%高い状態	—	—	—	
		1						
		2						
		3						
		4						
指標成果以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
いきいき森林づくりの推進	○高性能林業機械購入費補助 森林経営計画に基づく森林施業の実施にあたり、作業工程の効率化・生産性の向上性を図るため、林業機械の導入を補助する。 機械購入経費の80%(上限6,000千円) ○作業道の開設補助 間伐作業や木材搬出効率化のため、作業道開設費用を補助し森林整備を促進する。 作業道開設工事経費の90%(上限7千円/m)	2	1	39,930	0	38,788	0.2	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡地域材活用促進事業	○静岡ひのき・杉の家推進事業 市内に個人が住宅を新築または建て替えをする場合、主要構造材に市産材(60%以上)を使用する住宅に対し、ヒノキ・スギの柱・土台(10.5または12cm)を100本(30万円相当)プレゼント H23～旧安倍六ヶ村移住は50万円相当補助 H24～内装材(床・羽目)10万円相当補助追加 (上限額) 構造材30万円、内装材10万円 ○静岡ぬくもり空間推進事業 幼稚園・保育園、公益的施設および中山間地振興に資する施設等の新築・建替え等に対し市産材を提供する (上限額)500万円 H29～認証材利用は100万円上乗せ 令和元年度からは商業施設の内装材等に利用する市産材の提供を開始した。(補助対象経費の1/2、上限100万円)	1	1	92,000	0	81,034	0.2	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	令和元年度から開始した商業施設の木質化について、3件の実績となったが、未だ制度の普及が十分に進んでいないため、より効果的なPRを実施する必要がある。	・報道機関やSNSの利用など、多様な形式で情報発信する。 ・補助制度を利用した店舗等において、ポスターの掲示以外の方法でPRを検討していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	2 農林水産
----	--------

評価責任者	所属	経済局 農林水産部 農業政策課
	氏名	課長 杉本 守

政策	1 新たな価値や需要を掘り起こし市民が自慢できる農林水産の静岡市ブランド創出を推進します
----	--

施策	5 6次産業化の推進等による新たな価値の創出
----	------------------------

施策の目的	農業者の個々の経営力に応じ、加工から販売までを手掛ける商品開発など収益性を高めることのできる農業の6次産業化への取組みを支援します。さらに、異業種との連携を強化し、そのノウハウを活用した生産・加工・販売の各段階における商品の付加価値向上に資する取組を支援します。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	6次産業化等への新規取組件数について、令和元年度は32件の目標に対し、実績は取組件数4件、達成率93.8%に留まり、成果指標としてはB評価となるが、農業者が収益性を高めることのできる農業の6次産業化に取り組み、地域資源の付加価値向上に資する取組に対し支援したことから、施策の目的は概ね達成していると評価した。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	6次産業化等への新規取組件数 (H27年度からの累計数)		26件 (H30)	1	32	30件	93.8%	
2				38	—	—	—	
3				44	—	—	—	
4				50	—	—	—	
指標以外の成果			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
ふるさと農力チャレンジ事業	6次産業化に取り組む農業者に対する助成（H25～）	1	1	2,200	0	1,468	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	6次産業化への取組は農業者の所得向上、地域資源の付加価値向上を図るとともに、地域農業の活性化に有効であるが、6次産業化等への新規取組件数が平成30年度から令和元年度にかけて減少している。	ふるさと農力チャレンジ事業について、農業者等への周知を図るため、JA等関係機関を通して引き続き広報を行う。また、事業の検討段階において、静岡県に設置されている6次化サポートセンターを活用し、事業の進め方等の助言・指導を受け、事業実施へと繋がるよう農業者等を支援することにより新規取組件数の増加を図る。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—